



水沢小学校
祖父母学級の「ダーツ」、
秋まつりの「岩根沢太々神楽」
(10ページ参照)

い し が わ 議 会 だ よ り

67

2009.1.15

新年のあいさつ	2
12月定例会	3
一般質問	4~7
議会のうごき	8~9
「究める・人」シリーズ No.7 花木出荷	10

春 迎

新年のご挨拶

議長 黒坂 久一

新年あけましておめでとございます。

何事も穏やかで実りある年でありたいと願う年明けです。

何が起きても不思議ではない昨今、昨年からの政治、経済の激動がどのような形で反動として到来するの心配な年でもあります。

一方、地方自治体には、何よりも安全・安心で幸せ感をもてることが求められています。町民はできる限り安全・安心を求める権利をもち、そのために主張することができません。

嘆きやばやし、悲観が先立ち他人のせいにしてしまい、ならばどうするという「ことば」「姿勢」があって良いはずです。

町は、第5次総合計画の中期実施計画を着実に実行する努力をしています。本町議会は、間違いのない計画の策定、執行、そして結果をしっかりと見極め、あくまでも町民の暮らしの幸せのために、執行部と両輪の中で進めていくことが必要です。

議会は執行機関に対し、行財政執行上の重要事項について適正で公平妥当な結論を見いだし、これを決定するもので、町民のための議論がなされなければなりません。

年を新たに迎えて、議会制民主主義の本来の姿を再認識し、責務を果たす努力をまいりますので、町民皆様のさらなるご支援をお願い申し上げます。



第4回 12月定例会で 議決された議案

一般議案 9件
条例案 2件
補正予算案 4件



一般議案

- ◎総合交流促進センターの指定管理者の指定
- ◎月湖水の文化館の指定管理者の指定
- ◎水沢温泉館の指定管理者の指定
- ◎大井沢温泉館の指定管理者の指定
- ◎休養宿泊施設月山荘の指定管理者の指定
(以上5議案、全員賛成)
- ◎月山避難小屋清川行人小屋の指定管理者の指定 (全員賛成)
- ◎字の区域及び名称の変更 (全員賛成)
- ◎西村山広域行政事務組合と西

川町との事務委託に関する規約の一部変更 (全員賛成)

寒河江地区斎場の地区外の利用者の火葬手数料を、斎場で徴収することに変更しました。

◎山形県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更 (全員賛成)

月山水道企業団 (鶴岡市及び三川町) の解散に伴い、規定を整備しました。

条例案

◎職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正 (全員賛成)

平成21年5月21日から始まる裁判員制度の導入に伴い、特別休暇の規定を整備しました。

◎国民健康保険条例の一部改正 (全員賛成)

出産育児一時金の額について、従来の35万円に、必要に応じて

3万円を上限として加算することに改正しました。

補正予算案

◎一般会計補正予算 (第3号) (賛成8人、反対1人)

4254万7千円を追加し、歳入歳出予算総額は、49億8431万7千円となりました。

主な追加内容

◆個人住民税の公的年金特別徴収に伴うシステム改修委託料

1960万円

◆克雪住宅建築奨励補助金

150万円

◆ふるさとづくり基金積立金

168万2千円

◆水沢温泉可燃ガス対策修繕料

670万円

◆大井沢温泉ポンプ入れ替え修繕料

250万円

◆灯油代補助金 (300世帯)

150万円

◆重度心身障害医療給付金

240万円

◆育苗センター管理道舗装工事補助金

110万円

◆水田畑地化整備事業工事費

108万7千円

◆森業・山業支援金 (特産品販売)

100万円

◆県道貫見間沢線道路改良事業負担金

526万円

◆除雪賃金

239万6千円

◆間沢及び綱取地区公民館整備事業補助金

120万円

その他に、路線バス事業及び介護保険特別会計、並びに水道事業会計の補正予算を全員賛成で議決しました。

請願

次の請願を採択しました。

◎石油、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める請願

提出者 農民運動山形県連合会

会長 花鳥賊 義廣

◎ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願

提出者 農民運動山形県連合会

会長 花鳥賊 義廣

世界金融危機、本町への影響は

町長…失業者等雇用不安の今後は不透明



西川フェア2008



池上 博 議員

米国のサブプライムローンの破綻に端を発し、巨大証券会社の倒産、世界同時株安、主要通貨の暴落、日本の大手銀行や本県の3銀行の大幅減益、自動車メーカー各社の大幅人員削減等が国民生活を直撃しています。

本町の企業への影響と失業による雇用不安は。

町内企業では全般的に買い控えによる影響や、特に輸出関連

企業等では生産の縮小や集約化がなされており、今後、自動車関連に強く現れるのではとの指摘もされています。いまのところ失業者等雇用不安について顕著な動きはありませんが、今後は不透明です。

本町の商工業の現状と金

融不安、法人税等の税収は。

懸念されるのが年末の資金繰りですが、県の信用補完制度や町単独の原資貸付制度を有効に活用できるよう対応します。

法人町民税については、現段階では当初予算に計上している2486万5千円を下回ることはないと思込んでいますが、来年度については憂慮しています。

町民等しく統合小学校の建設を心配していますが。

世界の経済状況が本町の財政に極めて大きな影響を与えるまでには至らないものと考えています。少子高齢化など、今後の本町を展望したとき、統合小学校建設は絶対に必要なものであり、着実に進めなければならぬと確信しています。

白鷹町の新町長は、ハコモノ建設の凍結、町長報酬の50%削



西川町商工会

減で、4年間の削減額6100万円を福祉向上等に充てるとしています。手本にすべきでは。

首長報酬は、それぞれの方のご認識によるべきものと思います。本町でも、厳しい財政事情から、三役、議員各位、そして職員にも減額をお願いしています。大切なのは、減額の割合を競うのではなく、与えられた条件の中で、首長としての任務や責任をまっとうすることだと考えています。

情報格差のないまちづくりを どのように進めますか

町長…国に実施調書を提出し、採択されれば平成21年度実施する



宮林昌弘 議員



パソコン操作(睦合小学校)

国に対して、平成20年6月に21年度実施したい旨の調書を提出し、2月まで申請し、採択されれば5月までに、本申請を行い事業着手と考えています。現時点での概要は、まずは、町内に光ファイバーによる高速インターネット回線を敷設することとし、併せて、町民の皆様にお知らせや議会中継なども検討しながら作業を進めています。

の予算措置がなされ、全体計画策定が進められていますが、その進捗状況は、

本町の水沢以西の本道寺志津及び大井沢地区は、インターネットの通信速度が遅く、光ケーブルへの早期接続が切望されています。

本年度予算に地域情報化基盤整備概要設計委託費として、90万円

光ファイバー高速通信網を整備するための課題、問題をどう捉え整理していますか。

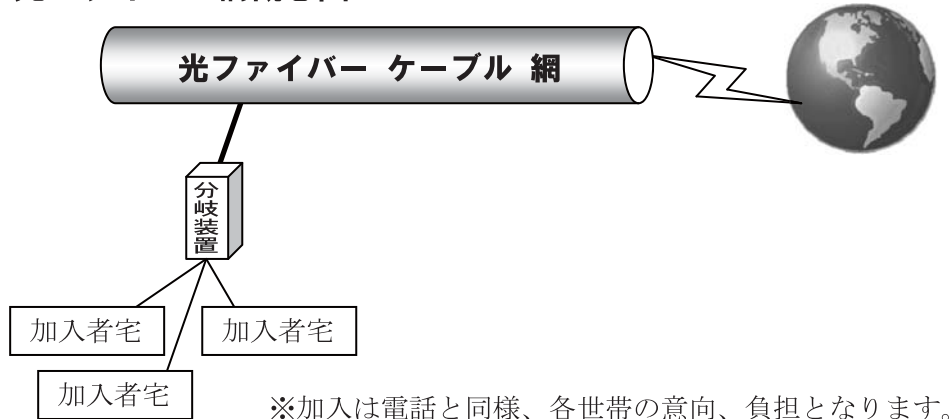
一番の課題は、各世帯の利用状況に尽きると思います。平成18年度の調査結果では、パソコンがある世帯約53%、インターネットを利用している世帯は約37%で、

現在では普及率もずっと高いと予測されますが、高齢者の世帯が多いので、いかにして普及率を高めるかということが一番だと考えています。

町民に対する全体計画の説明と、課題や問題を解決するためパソコン利用者の理解を得る方策は。

すでに、インターネット等をご利用の皆さんは、すぐにご理解いただけだと思いますが、他方、パソコンやインターネ

光ファイバー網概念図



ットを使えない、あるいは、使う必要がないと考えておられる方には、極めて難解なことであり、この利用方法やサービス内容がまとまりづらい、趣旨普及等に努めていきます。

平成21年度の予算編成方針は

町長…定住人口維持のため総合的に対策を進める



古澤 俊一 議員



ぶなのもり発表会2008(にしかわ保育園)

平成21年度は第5次総合計画の中間年です。活力の出るまちづくりに向けて、重要な政策課題はきめ細かく、抜本的な見直しも視野に入れ、無駄を徹底的に排除して予算を編成すべきと考えます。予算編成の方向性は、

前期は、財政基盤づくりに終始しましたが、何とかその基盤もでき、中期、とりわけ平成21年度予算は町の将来を展望して次のことを考えて予算を編成したいと考えています。

○ 定住人口維持確保のため、統合小学校建設、光ファイバー網整備、総合的な雪対策、産業振興による所得向上策など。

○ さらに事務事業の徹底した見直し。特に公共施設等のあり方や方向性の明確化。

世帯の同居は、家族の共生、子育てや介護の悩みの緩和、子どもの養育、出産の助長などに好影響を与えていると考えます。同居世帯に住宅設備資金や税制関連の優遇措置を図るべきでは。

高齢者住宅整備資金貸付事業や、要介護者等への住宅改修支援、税制面では老人扶養控除、住宅のバリアフリー改修促進税制などもありますが、地域での支え合いが益々大切であり、地域福祉活動の支援や地域支援職員派遣事業などの地域支援、在宅介護、子育て支援などを一層充実していきたいと考えています。

ブライダルサポート事業や結婚相談窓口の動きが見えませんが「仲人」に対し、町の推進策として報奨金制度等を考えるべきでは。



平成20年度西川町高齢者大運動会

結婚支援事業は現在、結婚推進員5人を委嘱し、相談窓口も開設、町民にもお知らせし仲人活動を進めています。

報奨金制度については、結婚推進員も増員し多くの方々が取り組まれるよう、いろいろな機会を捉えて町民への周知と協力をお願いしていきたいと考えています。

農業安定化のための方策は

町長…畑作の園芸作物の振興と通年農業の確立が必要



渋谷 雄三郎 議員



稲刈り(吉川地内)

農業振興のため
のしつかり
した価格
保障対策
を

品目横断的
経営安定対策
で集落営農を
進め、農業所
得は向上して
いますか。ま
た、農業安定
化のための方
策は。

集落営農を組織化し、米価下落に対する交付制度が適用されています。

また、町の農業安定化として、畑作の園芸作物の振興と通年農業の確立が必要です。そのため遊休農地の水田畑地化や土づくりのための堆肥の供給体制の整備を進めていきます。

水田畑地化の振興作物に価格保障をすべきでは。また、遊休地荒廃地対策及び地産地消対策の現状は。さらに燃料、飼料、

肥料高騰対策を考えるべきでは。

園芸作物の振興を目標に試験圃場の設定や一農場一産品の進展も見極め、本町の山間地にあった作物の選定を早期に行いましょう。

また、燃料等の高騰対策は、灯油等は前年同期の80円台となつていますが、国の対応と価格の動向を見て検討します。

少子化対策として子ども
の医療費無料化の年
齢引き上げを

国保税滞納者に対して資格証明書を発行すべきでないと考えますが。また、後期高齢者医療制度の滞納状況は。さらに全市町村から後期高齢者医療広域連合議会議員を選出すべきでは。

資格証明書は、保険制度維持のためにはやむを得ないと考えますが、診療中の方や子どもには十分な配慮を行っています。

本町の後期高齢者医療保険料の滞納は、11月末現在で、12件3万7800円です。
後期高齢者医療広域連合議会

議員の選出については、国がこの制度を1年間かけて検討することから、その推移を見て検討することとしています。

子どもの医療費無料化の年齢を引き上げるべきでは。また、福祉灯油券の取り組みは。

医療費無料化制度は、県単独医療制度であり、県自体も現在来年度に向けた検討をしている状況ですので、その動向を注視しています。

福祉灯油券については、低所得高齢者世帯等への灯油購入費助成事業として昨年度と同様に実施したいと考えています。



平成20年度子ども遊びの広場

議会のうごき



ぶなのもり発表会2008(にしかわ保育園)

常任委員会

総務厚生常任委員会

■ 11月7日

◎ケアハイツ西川の運営状況調査

ケアハイツ西川の運営状況について、工藤治郎施設長から説明していただきました。

工藤施設長からは「平成12年に介護保険制度がスタートしてから8年。平成18年には大改革が行われた。制度が変革していく中で、コスト縮減を図るために競争原理を導入し経費削減に努め、運営は順調に推移している。」との説明があり、議会として協力できることについて話し合いました。

◎肺炎球菌ワクチン接種調査

山形県保険医協会から陳情書が提出された肺炎球菌ワクチン接種への公費助成について、町立病院の事務長及び総看護師長の説明を受けながら、肺炎球菌ワクチン接種の現状を調査しま

した。

■ 12月3日

◎今後の活動計画

介護保険事業計画等について調査することを決定しました。

産業建設常任委員会

■ 10月7日

◎西川町総合開発(株)の経営状況調査

西川町総合開発(株)の経営状況について、落合春信統括本部長から説明していただきました。

落合統括本部長からは「昨年は経常損失を計上したが、本年は黒字となるように、正社員がフル稼働して経費の削減に努めている。」との説明があり、議会として協力できることについて話し合いました。

■ 12月3日

◎請願の審査

第4回12月定例会で受理した

次の請願を審査しました。

「石油、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める請願」

「ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願」

◎今後の活動計画

流雪溝の整備状況と今後の整備計画等、建設水道課所管事務について調査することを決定しました。

広報公聴常任委員会

◎にしかわ議会だより(67号)の編集

■ 12月4日 (編集会議)

■ 12月18日 (レイアウト)

■ 12月26日 (初校)

■ 1月7日 (二校)

■ 1月9日 (三校)

議会運営委員会

■ 10月20日～21日

◎行政調査

◆議会運営の充実・活性化

岩手県葛巻町

葛巻町は、人口が7948人で、「酪農とワインとクリーンエネルギーのまち」をスローガンに掲げ、まちづくりに取り組んでいます。

調査当日は、議長及び副議長から説明していただきました。

葛巻町議会では、一般質問のあり方、予算及び決算の審査方法、町民への議会報告会の取り組みなど町民によりわかりやすい議会活性化のあり方について、試行錯誤を繰り返しながらも積極的に取り組んでいます。

特に、議場で行う本会議及び委員会のすべてを役場庁舎内で放映しているほか、傍聴を呼びかけるチラシの全戸配付、年間4か所での議会報告会、町総合開発審議会及び行政政審議会等、町長の附属機関である審議会及び委員会への議員の不参加、また、「わたしの意見」と称した町民意見収集の取り組みなど参考になる事例が多くありました。

(委員長 渋谷雄三郎)

11月26日

第4回定例会（12月3日～5日）の運営について決定しました。

全員協議会

12月3日

◎第4期介護保険事業計画の策定

本町の第4期介護保険事業計画の策定について町から説明がありました。

介護保険事業については、事業がスタートした平成12年度から各3年間の計画期間を定め取り組んできており、現在3期目を迎えています。本年度で3期が終了するため、町では現在、平成21年度から23年度までの第4期計画を保健医療福祉計画の中で策定しています。

◎雇用促進住宅睦合宿舍の取り扱い

雇用促進住宅睦合宿舍の取り扱いについて町から説明があり

ました。

雇用促進住宅睦合宿舍については、平成6年5月に供用が開始され、おおよそ15年を経過していますが、国の所管業務の見直し等により、現在所管している独立行政法人雇用・能力開発機構から町で購入するかどうかの打診がありました。

説明に先立ち、議員が雇用促進住宅睦合宿舍を視察しました。

◎統合小学校推進委員会の設置

統合小学校推進委員会の設置について町から説明がありました。

町では今後、平成24年度の統合小学校開校に向けて、推進委員会を設置して、校名や校歌、校章等について検討していきます。

12月22日

◎雇用促進住宅睦合宿舍の取り扱い

12月3日に説明があった雇用促進住宅睦合宿舍の取り扱いの町の判断について説明がありました。

町では、必要性、利用の見込み、建物の維持管理費や今後の財政負担の観点から検討した結果、「譲渡は受けられない」ことに判断をしました。



町内現地視察研修

10月1日、本年度施工事業箇所現地視察を行いました。視察したところは次のとおりです。

■小山鉦山廃水処理（間沢川地内）

平成8年度に町が県から抗廃水処理事業を引き継ぎ、現在まで実施しています。本年度の当初予算額は942万2千円。

■町道立目南野線道路改良（沼山地内）

平成16年度から施工した町道です。幅員は5m、延長は427.7mで平成20年10月完成、総事業費は3792万2千円。

■主要地方道大江西川線歩道整備（志津地内）

平成15年度から県が施工している歩道です。延長は1900mで完成予定は平成23年度。

■大井沢給水施設

大井沢簡易水道の水不足の解消等を目的に県の事業で平成15年度から施工した給水施設です。平成20年10月完成、総事業費は3億5354万2千円。

■仁田山放牧場

77.9haの放牧場で、5月下旬から10月下旬までの間、牛を放牧しています。平成20年は約70頭を放牧、本年度の運営費の当初予算額は757万8千円。

町村議会議員研修会

県町村議会議長会主催の町村議会議員研修会が10月14日、山

形国際交流プラザ（ビックウイング）で行われ、全議員が参加しました。

研修会では、地方分権改革の行方と混迷する政局の行方について講演がありました。

西村山地方議長協議会議員研修会

西村山地方議長協議会主催の議会議員研修会が10月16日、大江町の町民ふれあい会館で行われ、9人の議員が参加しました。研修会では、観光の動向と地域振興について講演がありました。

行政調査のために 来町された議会

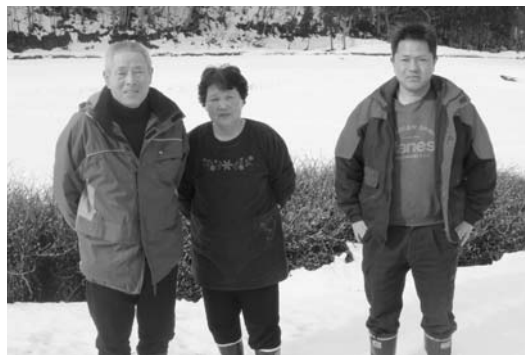
■北海道東川町議会

10月10日、月山山麓湧水群の水の利用状況調査のため、2人の議員が来町されました。

花木出荷

朝日連峰の木々を全国へ

佐藤 啓市さん(71歳)
 静子さん(68歳) (中上町内会)
 辰彦さん(44歳)



生け花に欠かせない花木の出荷を始めて23年が経ちました。それ以前は、4・5haの水稲経営を行っていました。しかし、少ない収穫量と機械購入のための借金等であまり思うような経営ができなくて、思い悩んだ末に、周辺の自然豊かな山々を活かして商売をやってみようと花木の出荷に取り組み始めました。無論この地域では初めての商売でしたので、すべて家内と二人で手探りの状態で研究しました。相談に行った花屋からは「これはゴミだ。」と言われたりして、眠れない夜が続いたりもしました。商品価値が出るようになるまでの5年間は、いま振り返ってみると、良い人生経験になりました。7年前からは息子も加わり、年々体力が衰えていく私たちに替わり、いまでは中心になって働いてくれています。かつての水田では現在、ナナカマドを栽培しています。冬季間は、山形森林管理署長と売買契約を結び、5m以上の積雪に覆われる朝日連峰に入っ



て、ムシカリやマンサク、コブシ等を探ってきます。山採りの最大の特典は節間が短いことです。始めたころはかんじきを履いて採りに行っていました。スノーモービルで負担が軽減されました。しかし、谷から背負い上げるときは難儀します。自宅のところに自前で造った調整室で促成し、1本1m20cm程度に揃えて市場に出荷します。ムシカリとナナカマドを看板商品として、関東や関西を中心に出荷していますが、最近では山形でも学校の卒業式や入学式、法人の株主総会等で使っていたくようになりました。何よりも嬉しいことです。山に入って四半世紀、地形を見ただけで自生している品種がわかるようになりました。一方では、山を管理する人がいなくなって山が痛んでいるなども感じています。

67号の表紙

緊張の一瞬!



水沢小学校で10月25日に行われた「秋まつり」と11月5日に行われた「祖父母学級」
 秋まつりでは、岩根沢地区の児童全員が五穀豊穣を祈って舞う『岩根沢太々神楽』を披露しました。祖父母学級では、ダーツや輪投げ等の軽スポーツを楽しみました。

編集後記

今年のNHK大河ドラマは、米沢藩の直江兼続の『天地人』が放映されます。

昨年の国内ニュースを天地人に置き換えると、(天)では、関西地方のゲリラ豪雨や局地的な集中豪雨に見舞われ、(地)では、岩手・宮城内陸地震が発生し、(人)では、元厚生省事務次官や幼い命が奪われる残忍な殺人事件がありました。

今年は、年頭にあたり、直江兼続が愛用した**愛の兜**にちなみ、郷土愛や人間愛の精神で、天地人災のない安全で安心して生活できる世の中になることを、心から祈念します。

(宮林 昌弘)

議会へのおさそい
 皆さん傍聴してみませんか
**次回定例会は
 3月招集です**

《発行・編集責任者》	議長 黒坂 久一
《編集委員》	委員長 井場 榮治
	副委員長 池上 博
委員	宮林 昌弘
	青山 知教